

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ
LIGHT up ROTARY
ゲイリーC.K.ホアンRI会長
●第2510地区重点目標
RIテーマ「ロータリーに輝きを」
を推進しよう

55年の歴史の蓄積の上に乗って
ロータリーにさらなる輝きを

●再来週12月5日 金のプログラム

◎クラブフォーラム(上期総括)

●来週11月28日 金のプログラム

◎ガバナー補佐公式訪問 点鐘12:30
RI第2510地区第6グループ 志比川ガバナー補佐(蘭越RC)

●今週11月21日 金のプログラム

◎「職場訪問」 田中酒造亀甲蔵 点鐘11:30

19

通巻 第2675号
2014年11月21日発行

1960年創立
昭和35年2月5日

●第18回例会報告 11月14日 金 国際奉仕委員会担当例会 ロータリーデー「ポリオプラス」総括

■ロータリーソング ■ 「四つのテスト」

■ゲスト・ビジターの紹介 ■

・本日はありません。

■会長報告 ■ 加藤会長

・米山奨学生リ・アルムさんは、ご本人の就職もきまり財団委員会へ米山奨学金辞退届けを提出されました。当クラブでは矢野・松浦両カウンセラーが2年間にわたり担当してまいりましたそれに伴い、今年度担当の松浦カウンセラーに感謝状が届いております。



・去る11月8日に第1回小樽こどもの詩(ポエム)コンクール受賞式に出席して参りました。



・11/15日に蘭越において開催されます第2回ガバナー補佐会議に出席して来ます。

■幹事報告 ■ 濱本副会長

・例会変更のお知らせ=銭函RC 11/20(木)「休会」

=余市RC 11/26(水)夜間移動例会 点鐘6:30

場所:余市カントリー・エーヴァーランドホテル

・11/28(金) PM6:00「ひきめ」にてクラブアッセンブリーを開催します。

・10/1より札幌藤井ビル7Fに嵯峨ガバナーエレクト事務所が開設されました。

■会員誕生祝 ■ 11月生まれの会員

11/9 林会員 /11 盛会員 /15 野村会員 /18 白石会員・山谷会員 /21 湊会員 /24 板垣会員 /24 坪井会員



いつまでもお元気で!

■会員結婚祝 ■ 11月に結婚された会員

11/4 佐藤(公) /17 紺谷会員 /21 見延会員 /25 高木(成)会員



思い出を大切に!

■委員会・同好会報告 ■

◎例会運営委員会 阿部委員長

・来週11/21(金)開催の移動例会は、田中酒造「職場訪問」例会となっております会場等の諸事情により点鐘が午前11時30分となっておりますので、くれぐれもお間違いのないようご注意ください。

●例会プログラム

ロータリー財団月間 **END NOW** ロータリー財団担当例会

ロータリーデー
「ポリオプラス」総括
高木(成)委員長



今日は、ロータリー財団担当例会と
のことで今年のロータリーデー「ポリ

オプラス」の総括をせよとのことありまして、まず私から10月
末現在の「ポリオ撲滅募金」の内訳についてご報告し、その後
2510地区ポリオプラス委員会の委員であります松浦会員から
ポリオ撲滅関連のご報告をさせていただき総括としたいと思います
ので宜しくお願い申し上げます。

早速、寄付金についてご報告をいたします。9月19日開催の

ポリオ撲滅市民啓発募金及びチャリティ例会で64,078円9月20日開催のポリオ撲滅チャリティゴルフ募金で73,266円合計137,344円の募金額となりました。

次ぎに支出明細についてであります。

- ①ポリオ撲滅支援バッチの購入費 24,000円
- ②ポリオ撲滅キャンペーン広報活動協賛金として71,000円
- ③その他、活動報告CD作成費並びに諸経費として24,619円
合計119,619円の支出となり収支差引17,725円繰越残となりました。

私からは以上であります、今期ロータリー財団の白石副委員長をはじめ米山会員・鳥井会員と少数精鋭高齢者集団ならでの適切なアドバイスをいただき楽しく企画無事に任務を終了することが出来ました。この席をお借りしまして厚くお礼申し上げます、私からの報告とさせていただきます。

「ポリオ完全撲滅の為に」

第2510地区ポリオプラス委員会
委員 松浦 光紀



今期、羽部ガバナーはCKホアン会長の「ロータリーに輝きを」もたらすために、私たちができる最も重要なことは、私たちが四半世紀以上も前から行っている活動、ポリオ撲滅を実現することです」と言うお言葉を基としポリオ完全撲滅を地区内で重点目標とされておられます。

さて「ポリオ」と言う病気は「小児まひ」(急性灰白髄炎)の事です。小児まひは5歳未満の子供さんがかりやすい病気で特效薬はなく、ポリオワクチンの複数回の接種が子供を生涯ポリオから守ります。日本では、1960(昭和35)年に、大流行しましたが1980(昭和55)年の一例を最後に、現在まで新たな患者は出ていません。2014年現在ポリオ常在国はナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3か国のみで当初の35万件から99%撲滅されました2013年4月頃まではポリオの国際的拡大は中断されていたが現在の状況は2012年 223件から2013年416件とポリオ発症が増えて現在ポリオ発生国はパキスタン・アフガニスタン・イラク・シリア・イスラエル・エチオピア・ソマリア・カメルーン・赤道ギニア・ナイジェリアの10か国に増えており、感染の拡大が懸念されています。

2013年4月に世界ワクチンサミットが開催されポリオ撲滅

エンドゲーム戦略計画が立ち上がり国際ロータリーは2013年から18年迄の5年間、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーの集めた(各年3500万ドル約36億円迄)倍額を上乗せし提供するという事で最高総額5億2,500万ドル(540億円)の資金を提供する事になりました。現在ロータリーが行っている「END POLIO NOW」ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画です。WHOは2014年5月5日に感染が拡大していることから、現在のポリオ発生状況は「国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態」の一つであると宣言しました。

これからの課題として、残る1%のポリオとの戦いが最も困難であると云われています。又ポリオ撲滅迄はあと少しですが1番大きな問題は資金不足です。国際ロータリーはボランティアやポリオ感染者が出ている国や周辺諸国での予防接種活動に支援を行っていますが、紛争や地理的、経済的要因により隔離されている地域での予防接種への認識を高めるための活動やワクチン輸送などより多くの活動資金が必要となっていますこのポリオ撲滅キャンペーンを通し、撲滅活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、保険従事者と親への教育に必要な資金の確保に努めています。

何がワクチン接種の障壁となっているのかと言うと、主に貧困、混乱、戦争です。それと地理的な隔離、乏しい公共インフラ、武装紛争、文化的障害と云った要因が、予防接種活動の妨げとなっている事です。特に戦争が起きている場合、子供がワクチンを受けられないというのが最大の懸念です。今ポリオを撲滅する事の重要性は再流行がおきると10年間で毎年20万人以上の子供が感染し今後40年間にポリオ発症数が1千万人以上という以前の状態に戻る可能性も考えられます。

ポリオ撲滅活動に対し、これまでに世界で90億ドル(約7,020億円)の資金が充てられており撲滅の達成により、最大のメリットは今後20年間で400~500億ドル(約3兆1,200億~3兆9,000億円)の医療費が節約できると推定しています。それだけの医療費が節約できれば、その分をほかの疾病の予防や治療にまわすことができ、ポリオ予防接種活動のために整備されたインフラを、ほかの医療問題に対応するための基盤として今後も利用し続けることも出来ます。しかしもっとも重要なことは、ポリオの撲滅に成功すると生涯に渡って麻痺に苦しむ人が居なくなると言う事です。最後の1%を撲滅するのは今であり、放っておけば増えてくるポリオウィルスを撲滅できるのは今しかないと言えます。

END POLIO NOW ポリオ撲滅まで後少しです!!

■出席委員会■

・平成26年11月14日

会員総数 74名 本日の欠席者 19名
東、安部、石上、太田、大倉、小笠原、岡崎、角野、工藤
斉田、佐藤(喜)、湊、盛、鈴木、坪井、前川、山田(正)、山吹

・平成26年10月31日

会員総数 74名 休会につき確定出席率 100%

■メーカーキャップ■

10/21 大淵(小樽RC) 10/10 本吉(小樽RC)

●記事担当/坂口会員